

第39回三豊市子ども・子育て会議 会議録（要点）

日時	令和7年9月4日（木）14時00分～15時15分
場所	三豊市役所 危機管理センター3階 301・302会議室
出席者	<p>【委員】15名中12名 元井委員（会長）、金山委員、安藤委員、松堂委員、秋山委員、田井委員、大矢委員、大西委員、米田委員、片山委員、北中委員、行燈委員 （敬称略、順不同）</p> <p>【事務局】 健康福祉部：田中部長 子育て支援課：千代課長、藤川課長補佐、菅原課長補佐、細川副主任 保育幼稚園課：橋村課長、山口課長補佐、小野副主任 教育総務課：三好課長 学校教育課：内田課長</p>
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. あいさつ 2. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和6年度教育・保育に係る需要と供給の状況について (2) 令和6年度地域子ども・子育て支援事業の実施状況について 3. その他
開催形態	公開（傍聴者：0名）
会議概要	
子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ○開会 ○委嘱状・任命書交付 ○市長あいさつ ○委員紹介 ○会長選任 ○議事 <p><u>「三豊市子ども・子育て会議」の主な役割について</u> 子ども・子育て支援法第72条第1項の規定に基づき以下の事務を処理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①特定教育・保育施設（幼稚園、保育所、認定こども園）の利用定員を定めるにあたり、意見を述べる。 ②特定地域型保育事業（家庭的保育事業・小規模保育事業など）の利用定員を定めるにあたり、意見を述べる。 ③市町村子ども・子育て支援事業計画の策定・変更に際し、意見を述べる。 ④当該市町村における子ども・子育て支援に関する施策の総合的かつ計画的な推進に対し必要な事項及び当該施策の実施状況を調査審議すること。 <p><u>「三豊市こども計画」の概要説明</u> 「三豊市こども計画」は「みとよすくすく子育てサポートプランⅡ」の各種事業や施策の進捗状況、事後の達成度、取り組み状況を評価し、こども計</p>
子育て支援課	

	画として改定する形で、令和 6 年度に策定した。国の「こども大綱」と香川県の「こども計画」を踏まえ、「子ども・子育て支援事業計画」、「次世代育成支援行動計画」、「子ども・若者計画」として策定した。令和 7 年度から 11 年度までの 5 年間を計画期間とし、現在もこの計画をもとに子育て施策や子育て環境の整備に取り組んでいる。
保育幼稚園課	<p>議題 1</p> <p><u>令和 6 年度教育・保育に係る需要と供給の状況について</u></p> <p>小学校就学前の子どもに、教育・保育施設の利用希望がどれくらいあり、どのように対応したか、その進捗状況について報告。</p> <p>利用できる施設として主なものは幼稚園と保育所があり、近年では三豊市でも小規模保育施設も増えている。幼稚園、保育所、小規模保育施設、認定こども園等の施設において小学校就学前の子どもの受入を行い、就学前教育・保育を提供している。</p>
A 委員	状況については理解できた。今後 5 年間では、どのような体制づくりを検討しているのか。三野町について保育施設の統合やこども園の開設等の予定はあるのか。
保育幼稚園課	保育施設等の整備に関しては、三豊市就学前教育・保育総合計画において、計画を立てている。昨年度、中間見直しを行っており、詫間町においては、松崎地区の整備を進めている。高瀬・三野地区においては、少子化が進んでいるが、現在の子どもの人数を考えると、現時点では統合が難しい状況である。今後の子どもの人口推計などを鑑みて、改めて 3 年後に再度計画の見直しを行っていく。この 5 年間では高瀬・三野地区については、大きな統合等の予定はない。
子育て支援課	<p>議題 2</p> <p><u>令和 6 年度地域子ども・子育て支援事業の実施状況について（子育て支援課）</u></p> <p>子育て支援課・保育幼稚園課で実施している国が定める地域子ども・子育て支援事業の 19 事業のうち、令和 6 年度は 11 事業を実施。その進捗状況について報告。</p>
B 委員	ファミリー・サポート・センター事業について、就学後の人�数があるが、就学前対象の人數は。
子育て支援課	「すくすくサポートプランⅡ」では、就学前対象の人數は、一時預かり事業の「幼稚園の在園児以外の利用者数」で、ファミリー・サポート・センター事業の人數も、合わせてカウントしている。「こども計画」からは、就学前もファミリー・サポート・センター事業でカウントするように変更した。
C 委員	延長保育事業の実績数について少ないように感じた。自身が運営する小規模保育園では一定数利用がある。公設施設は含まれていないのか。
保育幼稚園課	事業を委託している、民間施設のみの数字である。
D 委員	量の見込みと実績の数値が乖離しているがどのように算出しているのか。

子育て支援課	「すくすくサポートプランⅡ」は令和2年度から6年度までの計画で、平成31年に人口推計や前5年間の実績をもとに見込みを算出した。コロナの影響等もあり、事業によって数値が乖離している。
会長	10年前は待機児童の問題があったが、現在は子どもの数が想定よりも減少している。今後は違うかたちでのサポートや、必要な部分に関しては、行政として重点的に資金配分をいただけるよう検討して欲しい。
保育幼稚園課	<p>その他</p> <p><u>「こども誰でも通園制度」について</u></p> <p>こども誰でも通園制度とは、全ての子どもの育ちを応援し、子どもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して保護者の多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化するため創設された新たな通園制度。三豊市としては、国や県から示される情報を基に、実施施設など、市の実施方針を決定していく、令和8年度からの実施に向けて準備をしていく。実施施設の認可決定にあたっては、児童福祉法第34条の15第4項に基づき、子ども・子育て会議での意見徴収が必要となるため、次回以降の会議で議題とさせていただく予定。</p>
E委員	来年度4月から、どのように実施するのか。一度、現場へ現状を見に来て欲しい。実施するのであれば、予算も含めて検討して欲しい。
会長	<p>数値だけでは現実が見えなくなり、回りまわってどこかへしわ寄せが来ることになる。絵に描いた餅とならないようにしっかり制度設計して欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○部長挨拶 ○閉会